

# ここのえ

## 求む!!感想

一般質問10名中  
後半4名分を横書きで  
作成してみました。  
縦書きと横書き どちらが  
読みやすいでしょうか?  
あなたの声を  
☎76-3814まで  
お寄せください。

**No.124** 2019.1.17発行

12月定例会

- みなさんからの陳情はこうなりました P.4
- 議会研修報告 P.5
- 「ありがとうの日」は必要か?議論中 P.6
- 10名が夜間議会で一般質問 P.7
- わたしのひとこと P.17

野上・滝上 佐藤 義徳さん 飯田・年の神 馬場 博司さん

# 平成30年第4回定例会

第4回定例会を平成30年11月30日から12月14日まで開催しました。  
議案11件を原案のとおり可決しました。

(内 訳)

- ・ 和解及び損害賠償の額を定めることについて
- ・ 宝泉寺交通センターの指定管理者の指定について
- ・ 長者原オートキャンプ場の指定管理者の指定について
- ・ 九重町あらゆる差別撤廃・人権擁護に関する条例の全部改正について
- ・ 職員の給与に関する条例の一部改正について
- ・ 九重町過疎地域自立促進計画の一部変更について
- ・ 一般会計補正予算、特別会計補正予算（4件）



**平成30年度一般会計 補正額 5,616万円増**

**補正予算(第5号)**

**補正後の額 総額 74億3,938万円**

## ◆ 補正予算主要内容 ◆

歳入

- 地方交付税 …………… 1億1,325万円
- 児童福祉費国・県負担金(保育所給付) …… 2,118万9千円
- 減債基金繰入金 …………… △9,000万円



歳出

- 施設型給付費負担金 …………… 2,825万2千円  
(町外保育施設利用分)
- 飯田地区公営住宅建設事業費 …………… 260万円  
(工事監理委託)



特別  
会計

- 平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)  
債務負担 特定健康診査業務委託 …………… 950万円  
歳入歳出予算総額増減なし
- 平成30年度介護保険特別会計補正予算(第3号)  
…………… 1,707万7千円増 総額 15億5,049万1千円

# 新年のごあいさつ

議長 小川克巳



新年あけましておめでとうございます。

皆様にとつて、光り輝く希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、九重町議会の日頃からの諸活動に対しても、温かいご支援、ご協力を心から感謝申し上げます。

今年、町議会議員の改選を迎えます。議員の成り手不足等が心配されるなか、人口減少等を踏まえ定数を1減することとしましたのでご理解をいただきたいと思えます。

近年は異常気象等で豪雨

災害が発生し甚大な被害が続出しています。地震も南海トラフの巨大地震が30年以内発生確率が70〜80%と不安視されています。日頃からの防災対策が急務となっております。

過疎化に拍車をかける人口減少も大きな課題ですが地方の創生と共に活力ある地域づくり、町民一丸となつて取り組まなければなりません。

今後、町民の代弁機関として、議会機能の充実を図り、地域住民の生活安定と福祉の向上を目指し、人口減少の克服や地方創生に向けた、活力ある町づくりを進めたいと思えます。

本年が皆さま方にとって良き年となるよう、ご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 補正予算質疑

佐藤明郎議員

Q 町外のごども園施設を利用する60名近くの園児に対する予算について、利用者が予定を上回る状況は、利用者の都合によるもの、とのことだが、ごども園の設置者として、何らかの対応が必要であるとの考えはないのか。

A 今以上に、サービスの向上を図り、PRなども、積極的に行っていきたい。



## 第4回臨時会(11月) 可決

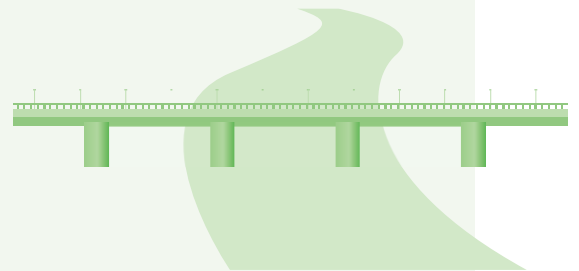
〈工事請負契約の締結〉 ▶ 平成30年度 栗野橋 橋梁補修工事  
( 契約金額：55,620,000円 )  
( 契約の相手：株式会社 井原組 )

## 上記契約に対する質疑

佐藤明郎議員

Q 栗野橋については、つい最近、交通規制をかけて、大規模補修が行われた。当時の工事との関連性は。又、主要道路でもあり、今回の工事に伴う、規制などはどうなるのか。

A 工事費用を勘案し、工事を3回に分けたもので、今回が最後の工事となる。交通規制は、必要となる工程があるが最小限とする。



## 可決された案件

議案第64号「宝泉寺交通センターの指定管理者の指定について」

議案第65号「長者原オートキャンプ場の指定管理者の指定について」

議案第66号「九重町あらゆる差別撤廃・人権擁護に関する条例の全部改正について」

議案第67号「職員の給与に関する条例の一部改正について」

議案第68号「九重町過疎地域自立促進計画の一部変更について」

## 総務建設産業常任委員会

# 審査報告

議案  
5件

陳情  
2件

みなさんからの陳情は、こうなりました

### 陳情受付番号第4号

玖珠九重農業協同組合組合長 石井之俊氏による「移動金融購買店舗車運営に関する助成に係る陳情書」は、行政と企業という関係について、十分な調査をするため、詳細な資料の提出を求めている「継続審査」としました。

### 陳情受付番号第5号

重原区長 岩尾耕次氏ほか4行政区長による「日出生台演習場周辺地域における住宅防音工事についての陳情書」は、防音工事区域の拡大については全町的に取り組む必要があり、防衛省などに働きかけなければと思います。九重町としても近隣市・町・村の期成会と「合同陳情」を行っていることから、陳情の趣旨は理解できると判断し「趣旨採択」としました。



## 教育民生観光 常任委員会



給食センター調理室を見学



今日のメニューは、ごはん、カラフルボールのスープ、豚肉とレンコンの炒め物、牛乳

給食の状況について  
学習した後、試食

### 10/22 視察・学習会をしました

- ①給食センター・給食の状況について
- ②自然環境保全の取り組みについて



環境保全についての法令や条例、現状等を自然環境グループと学習

## 日田玖珠議長会議員研修会

県企画振興部の遠藤健人氏を招き、日田玖珠地域の交通体系に関する考えを拝聴した。

高齢化の進展に伴い、公共交通の重要性は増すばかりである。バス路線の維持確保は県の必要な政策であり、北部圏と豊肥圏では交通再編に着手した。他の圏域でも策定作業を始め、日田玖珠では平成32年度からである。九重町では新交通体系が整備されたが、より充

足するには国や県の支援が欠かせない。一刻

も早い実現に向け、適宜行動する。

他に、東九州新幹線、日田彦山線の復旧やJRのダイヤ改正の紹介があり、報道の通りで、難しさを確認した。



## 県町村議会議員研修会@日出町

観光を目玉とした地域づくりが全国的に進められている。しかし、ほとんどの地域では、町の資源は何だろう、資源をどう使えばいいのだろう、と足踏みしている。

そこで、観光地域づくりによくの実績を持つ、内閣府「地域活性化伝道師」である清水慎一氏にご講演いただいた。

観光とは、よその人に来てもらい、地域の人たちと交流し、その暮らしを楽しんでもらうことである。住

んでよし訪れてよし、の観光地域づくりのためだけに予算を使うことである。この考えのもと、例えば徳島県の祖谷溪では、秘境を売りに、年間千人未満の観光客数を10年で約30倍にした。観光地づくりを持続的に行うには、住民や団体や行政が連携する場(DMO)と民間リーダーがカギを握る、と締めた。

九重町も同様の動きを始めており、議会としても観光地づくりを推進する。

**平成31年2月3日は  
九重町議会議員一般選挙の  
投票日です。**

**あなたにとって最も身近な選挙です。  
期日前投票も活用し、あなたの権利を!!**

(期日前投票は1月30日～2月2日の午前8時30分から午後8時までです。)

# 部落解放同盟九重支部との対話会を開催

さる、11月28日、毎年行われている、部落解放同盟九重支部と議会の対話会が行われました。

表面的な差別事象は減少したと  
の声がかかる中、インターネット  
による差別の深刻化も含め、一昨  
年、国会で部落差別解消推進法が  
改めて法律化されるなど厳しい差別  
の現実があることを再認識せねばな  
りません。

この現実を踏まえ、3班に分か  
れ、学習、啓発の必要性、自らが  
学び、自らが発信する力を持つ  
等々、熱い討論が行われました。

又、議員としての責任、発言の  
重さについて、厳しい助言もいただ  
きました。

全国的に解放同盟と議会の対話  
会は例が少なく、この開催を、いか  
に解放の力としていくのが大切だ  
と改めて思いました。

## 議会としての役割は

議会の責務としては、この問題に



分科会毎に内容を発表

対する執行部の取り組みを厳しく  
監視、指導を行うこと。

一議員としては、しっかりとした  
学習に基づき、自ら、説明、啓発  
できる力をつけることが必要だと感  
じました。

# 「ありがとう」の想いを考えたい

九重町に「ありがとうの日」は  
必要なのか。議員間で討論中。  
是非あなたのご意見を…

## こんな意見が…

- 人権意識の基本育成に  
つながる
- 町のイメージアップ  
優しい町のイメージ
- 制定によって嫌な思いを  
する人がいる
- 町のイメージダウン
- 必要性が感じられない

基本的人権の尊重は、全て  
の町民の権利であり、行政の  
全ての政策の大前提です。

しかし、様々な課題から自  
らの存在を無視されたり、心  
を傷めている方々が居ること  
も、又現実です。

そこで、当り前のことです  
が、ありがとうの意味を見つ  
め直し、家族、友人、同僚は  
じめ、周りの方々のおかげ様で  
生きていられること、町民全  
ての存在に感謝する気持ちを、  
改めて共通認識することで、  
心豊かでやさしい生活環境を  
目指し人権意識の向上、町民  
の精神的豊さにつながれば。

そんな思いで、全国的にも  
例のない試みですが、九重町  
に「ありがとうの日」を設け  
たいとの意見があり議論が続  
いています。

あなたの意見を  
下記まで!!

町議会事務局  
76-3814

# 町政を質す 一般質問

## 10名の議員が質問 夜間議会にて2日間開催

### 九重版DMO組織(九重町観光の「経営企画室」的組織)の構築にどう取り組むのか

… 来年度検討委員会を設置し、住民にもしっかり説明していく



井上 里子

**井上** 「九重版DMO組織の構築」は、H29年3月に策定された本町観光振興計画の基本方針の一つである。

本年度施政方針に、「九重版DMO組織の構築に向けて検討委員会等を設置し、協議を進めていく」と示されている。検討委員会での協議の進捗状況は。

**町長** 検討委員会はまだ設置できていない。検討委員会設置のための準備委員会を5つの課で構成し、協議を進めている。検討委員会は来年度設置の予定である。

**井上** 町のこれからの観光は、直接的な観光関連団体や事業者だけでなく、広く町内の各種関係団体や事業者、住民も連携して、九重町の観光地域づくりをしていくことになる。それを企画し、活動していく九重版DMO組織の構築にどう取り組むのか。

**町長** 来年度検討委員会を設置し、DMO組織の構築も来年度というような速やかな動きは難しい。住民に理

解、協力してもらうにはしっかりと説明していかねければと思っている。

#### コミュニティバス

#### ● 龍門線を

#### 変更前の

#### 玖珠方面直行便に

**井上** 今回の運行ルートの変更で、龍門線が、特に松木方面から玖珠町の病院への通院が不便になっている。

変更前の龍門線は、恵良駅経由玖珠方面直行便だったが、変更後、直行便でなくなり、恵良駅で約20分ほど待って九重縦断線に乗りかえて行くので、病院に着くのも終わるのも遅くなる。帰宅は3時前後になり、ほとんど一日がかりの通院になるとのことである。

龍門線を変更前の玖珠方面直行便に戻せないか。

**町長** 今回の運行変更は、国の認定を得て補助率を少しでもよい状況にすることと利便性の向上を目的に計画した。国の認定を受けたことで今回はこの流れでい

くが、出てきた課題についてどのような改善策がとれるか検討させてもらいたい。

**井上** 上旦地区も不便になっている。新しい龍門線のバスは、上旦地区を平日毎日2往復半走っているが、この10月1か月間に上旦地区からの利用者は何人か。

**町長** 上旦バス停での乗車、下車はゼロである。

**井上** 上旦地区は、栗原小園線と同様に、予約運行制の乗り合い小型車両の運行が適しているのではないか。

**町長** 提案の方法も今後の検討材料にしたい。

**井上** 本町は、これから運転免許を返納しなければならぬ人が増えてくる。

交通弱者、特に周辺地域に暮らす人々も、暮らしやすい町づくりに力を入れてもらいたい。

**町長** 交通弱者が不便さを感じていることが大きな課題なので、その対策に、今後もしっかり取り組む。

# 豊かな人間性を育む教育 学校図書館の充実を！



増田 裕子

.....前向きに進めていく

## ● 読書環境の充実は 町の文化度のバロメーター

**増田** 学校図書館には、読書、学習、蔵書、居場所、地域文化向上などの機能がある。町の図書館は、司書の働きで非常に充実化したと考えるが、学校での司書配置や勤務状況は。

**教育長** H24年から町の臨時職員として勤務。中学1校1名。6小学校に4名。野上小と野矢小、南山田小と淮園小が兼務である。

**増田** 司書は非常に専門性の高い重要な仕事だ。子どもたちや教職員への影響や効果をどう把握しているか。

**教育長** 蔵書管理や図書館の整備・運営改善、調べ学習や読書指導など学校司書の役割は年々大きくなっている。

**増田** 1校に専任の司書では十分可能だろうが、兼務校では業務量に制限があ



充実した環境で司書とふれあう子どもたち(東飯田小)

り、学校間で格差が広がっている。子どもたちに影響が出ないように、学校現場全体でがんばっている状況だ。県の読書モデル校に指定された東飯田小学校の成果・効果は。

**教育長** 蔵書のデータ化、貸出・検索の電子化など図書システム化につながった。今後、小中学校・町図書館をつなぐシステム化も必要と考えたが、今は足踏み状況。

**増田** 司書へのヒアリングを実施し、改善の年次計画を立てるべきでは。

**教育長** 教育委員会の方針としては、学校司書は1校1名が望ましいと考えている。図書システムの導入についても、全校配置を目指し、前向きに進めていきたい。



5小学校は手書きの蔵書管理

学校図書館のデータベース化 (小学校)
全国調査 (H28年度) 84%
大分県 (H30年度) 85% (おおむねデータ化 87.4%)

## ● 南山田元水工場 施設について

**増田** 2年前、企業撤退により九重・玖珠町民8人の従業員が解雇された。早期引継ぎを要求したが、未だそのままになっている。元水工場の維持管理費の状況は。

**町長** 毎年土地賃借料を支払っている。この間8社の参入希望があったが、調わなかった。今現在、新たに1社協議中。

**増田** 2年は長すぎる。短期で引き継ぎを必死に探し、できなければ施設の解体・土地返却すべき。もつと町民に寄り添う熱意と行動が必要。

**町長** 再開を求める意見も聞いている。現在の協議が上手く進むことを望んでいる。期限は決めていないが、最終的な協議になると予測している。



# 町政を質す 一般質問

佐藤 太治



## 4年間を総括して…

### 道の駅については交通量調査を行う

#### ● 県道飯田高原中村線について

**佐藤** 飯田にいくメインの道路だと思われる。復旧工事だけでは安全の確保は厳しいと思われる。新たなルートは考えられないか。

**町長** 今後、県の土木と協議するなかで、復旧工事に限定するのではなく、色々なことを考慮して、安全を確保する。

#### ● 夢の大吊橋について

**佐藤** 10年たったら次の「しかけ」を考えなければと思われる。イベント、インバウンドにこだわるのではなく、リピーター等も考える

べきではないか。収益も「果実の配分」ということを考え、大吊橋のために使うという形を作ったかどうか。

**町長** 大吊橋は将来的にも維持管理等のための経費が掛かると思っている。「果実の配分」という考え方も含め検討する。

#### ● ふるさと館について

**佐藤** 町内の農家の重要な販売の施設ではないかと思う。現在の会員数、経営状況はどうなっているか。

**町長** 個人会員81名、団体会員34団体、となっている。経営は厳しい状況で、赤字、赤字を繰り返している。



いつまで続く交通規制



やっぱいいね!! 道の駅

#### ● このえまち 総合サービス 株式会社について

**佐藤** 株式会社で町が関与すると、公平、平等といった動きが取れない。民間だと出来ることから取り組み、スピードが出る。早期に移行したらどうか。

**町長** 収益が上がることで、経営が成り立つことを考えて、全体的な構想を練っているが、100%出資の会社であり、町が関与することも必要である。

#### ● 道の駅について

**佐藤** トイレ休憩、観光案内、町の拠点として、道の駅は必要である。

**佐藤** 4年前は約40万円となっていた。昨年は3,000万円であり、約2,100万円が町の大きな収入となった。まだまだ積極的に取り組んで成果をあげ町民福祉の向上、サービスの充実をはたしたらどうか。

**町長** 町の拠点づくり、情報の拠点づくりは、大事だと思っている。来年度に向けて、210号線の人や車の流れを調査してデータを行政、住民の方と共有して、どうあるべきかを検討していく。

**町長** 寄付金の充当可能な事業を増やし、サイトも現在は1社だが、楽天、ふるさとチョイスと2社増やし、3社体制でやっていく。

# 町の課題は!!

..... 20年後を念頭におき対応する



坂本 憲治

## 農業

**坂本** 担い手不足・高齢化に対する取り組み、水田農業等への対策は。

**町長** 集落営農の組織化はなかなか進まない。ファミリーズスクールや高付加価値作物の導入が重要。トマト・ミニトマト・白ネギ・トウガラシ・ニンニク・サトイモ等期待できる。高付加価値と自然農法は重要と考える。

観光地らしい環境整備を。来訪者や宿泊者等のデータ化も必要。

**町長** DMOや総合サービス株式会社等の民間活力で展望を開く。

環境整備や宿泊者等のデータ化も早急に対処する。

## 観光

**坂本** 九重町の観光の売り物は自然を生かす事では。



集落営農の拠点



ニンニク栽培

## 福祉

**坂本** 将来の人口推計を考えると介護施設の不足が考えられる。対策を伺う。

宝泉寺地区は豊かな自然と温泉で心を癒していただくための植栽などの環境整備に取り組んでいます。

宝泉寺地区の看板

**町長** 今が実質的に高齢者人口がピークと見る。今後、高齢者人口は減少する。介護予防の取り組みで、現施設整備で可能と考える。介護予防は地域ぐるみで取り組む事が必要と考える。

## 人口減

**坂本** 人口減少が続いている。年間約180人、10年後には約2,000人の減少となる。どう考えるか。



町民を支える介護施設

**町長** 20年後には、約4,000人減の5,822人と予想する。人口の減少は、すべて負のサイクルとなり得る。そこを念頭におき対応する。

町政を質す 一般質問

土井 眞一郎



# 高齢者ドライバー運転免許自主返納に伴う買物・病院通院などの支援

..... 支援について検討する

● 高齢者ドライバー  
運転免許自主返納に  
対する支援について

**土井** 道路法が平成29年3月に改正され、免許の自主返納者が増えることが予想される。

交通手段を奪われ、日常生活に影響がでることは明らかである。コミバス回数券などの支援策は考えられないか。

**町長** 交通弱者対策は必要である。事故防止を図るためにも、自主返納者に対する支援を検討する。

● コミバスのバス停に、  
路線図や外国語による  
公共交通情報の発信が  
必要では

**土井** 現在のバス停には時刻表しかない。町内者とはもとより、インバウンドなど本町への来訪者は、利用することが難しいと思われる。路線図などの対応は考えられないか。

**町長** 町外、観光客など情



時刻表のみのコミバス停

報が足りていないと思われる。利用者に分かりやすい路線図など作成し、順次設置を行う。

● 玖珠工業団地の現状と  
人材確保について

**土井** 玖珠工業団地への誘致企業が、来年4月に稼働の予定だが、現在の人材確保と今後の取り組みは。

**町長** 玖珠九重企業誘致促進期成会を設置し、就業促進に取り組んで来たが、まだ採用予定に達していない。今後の企業誘致のことも考慮し、雇用対策に取り組む。

● 地域づくりプロジェクト

**土井** 地域の活性化について、地域づくり推進事業補助金と地区協議会との結びつきを、どのようにつなげていくのか。

**町長** 少子高齢化が進む中で「地域づくり推進補助金」は、地域が元気に活動していくために必要であるが、利用状況は減少傾向である。地区協議会が事業主体となることも可能であり、地区協議会での活用も願います。



地区協議会の主催事業つーだらだった祭

# どうする 負の遺産 壊せば産廃 活かせば資源

.....議会と話し合い考えたい



藤原 三治

## ● 町有施設 一百万円でも売却を！

**藤原** 10年前、無償で譲り受けた4つの物件の一つ、川底の醤油工場。解体には数千万円の費用が必要と。町はどのように考えているのか。

**町長** 中には、味噌醤油が残っており、その処分を含



活用次第で無限の可能性!川底醤油工場

めて多額の予算が必要と考えるが、解体産廃処理を行い、更地にする事が望ましいと考える。

## ● 壊せば産廃 活かせば資源

**藤原** 専門化に調査を依頼して町内外に広く説明し官公庁オークションを行い、たとえ一百万円でも売却できれば、活用次第では雇用が生まれ、特産品の開発や新たな事業も期待できる。解体費用の数千万円を捨てず生かす方法を考えてはどうか。

**町長** 町は解体処分の考えだが、議員全員の考えを聞き、協議していきたい。

## ● 新規就農者の実態は

**藤原** 夢を抱いて頑張っている町外からの就農者が何人かいる。経営内容などを把握し、5年・10年続く食べべていける農業へとアフターフォローは充分に行つ

ているのか。

**町長** 町外から6名が新規就農されており、町も巡回をし相談に乗っている。頼



飯田地区のライフラインの要、JA飯田農協

れる人も少ないと思われるので、生活がスムーズにくようサポートしていきたい。

## ● 大丈夫か？飯田地区 ライフラインの維持

**藤原** 自然の宝庫、飯田高原は、多くの観光客が清らかな水と空気、豊かな温泉、九重の山々の緑の大パノラマを求めて訪れている。町長は一番大切なことは自然環境であると明言したが、自然を守る飯田住民の生活のライフラインの要を握る飯田農協の安定継続について、町は何らかの協力や支援は考えているのか。

**町長** 水道・電気・ガス等のライフラインを守るため、JAを含めて事業者と共に横の連携をしっかりと取っていききたいと考えている。

**藤原** 基金の有効活用についても執行部の考えを質しました。

# 町政を質す 一般質問

佐藤 博美



## 「道の駅」町民がまちづくりに参加する機会に

..... 議論することは非常に大事なこと



予想以上の繁盛・玖珠の道の駅

### こども園、民営化を考える時期になったのでは

**佐藤** 町内のこども園は施設も整い、今現在ある程度落ち着いている。第四次総合計画の中で民営化、民間委託を推進する方針が出ているが、民営化の考えは。

### 認定こども園法があり、町内で民営化の受け皿がない

**町長** 将来的には民営化をするという方向だが、認定こども園法があり、学校法人か社会福祉法人しかこども園を運営することはできない。町内で受け皿がなければ町外も含めて考えていかなければならない。色々な課題は出ると思うが、民営化で今まで以上にサービスを充実したものにしていくことが大事だと考えている。



民営化を検討するこども園

### 道の駅

**佐藤** 今、道の駅が町内で話題となっている。作る、作らないは役場の判断ではなく、もっと調査すべきではないか。

ふるさと館、JAや由布院、玖珠の道の駅に出荷している人達、商業者、また町内の若い人達にも参加してもらい、九重町で道の駅が成り立つのか、どうしたら九重町を元気にできるのか、専門家の講師なども交え、議論することが必要ではないか。まずは調査を。

**町長** 提案されたことは非常に重要なことだと感じている。来年度に210号線の交通量調査を行い、そのデータをもとにみんなで議論していただきたい。特に、若い人達にはこの議論に積極的に参加していただきたいと思っている。

データができ次第、議論の場を持ちたい。



町外者も多数入居している定住促進住宅

### 人口減少、九重町は将来残れるか

**佐藤** 九重町の人口は1年間に200人近くが減っている。20年後には6,000人を割ることも予想される。

今九重町に住みたいが住む家がない、家を建てたいが土地がないという声を聴く。行政として人口減少を少しでも抑えることは緊急課題である。早急な対策を。

### 定住に向けての取り組みをしっかりとっていききたい

**町長** 指摘の部分は理解できる。土地の分譲含め、定住に向けての対策をしっかりと行っていききたいと思っている。

## 町民目線で行政執行を行っているか

…………… 疑問を感じる部分は協議を重ねて対応していく



有吉 富生

## 町の特産品の取り組みは

**有吉** これが町の特産品と言える産品が必要であり取り組みがされているか。

**町長** 以前からの代表的な特産品に加えて、ニンニク、サトイモ、唐辛子等も特産品として期待している。



畑地整備でキャベツが作られていた新産品を待つ畑地

## 民生委員の活動における実情と課題は

**有吉** 高齢化社会の中で民生委員の活動は多様化していると思うが、実情と課題が協議されているか。

**町長** 1人の管轄する行政区が広範囲であり、負担が大きいと感じている。地域全体で支える体制づくりの取組を進める。

## 老人クラブの活動状況は

**有吉** 会員の高齢化で減少する現状でどう支援するか。

**町長** 新規会員の加入には魅力ある会が必要であり、会員や関係団体と協議し支援を検討していく。



グランドゴルフを楽しむ老人会

## 町民が理解できる課・係への組織機構の見直しが必要

**有吉** 仕事の内容からして、課が違うと思われるが、見直しが必要ではないか。

**町長** 疑問に思うものもあるので内部協議をしていく。

**有吉** 組織の中で大きな課には、リーダーを統括する役職があるべきではないか。

**町長** 若いリーダーを育てていくには何かを考えていかねばならない。

## 多くの町民が受験できるよう職員・臨時職員の複数年の採用計画は周知できないか

**有吉** 職員・臨時職員の受験者に町民が少ないが、募集することを早く知らせることが対策ではないか。

**町長** 毎年、定年退職者の補充は行っていくため、広報等で周知していく。



バリアフリー化が必要な入口

## 公共施設の使用にあたり安全性は図られているか

**有吉** 各地区の体育館が多様に使用されているが、入口のバリアフリー化の必要があるのではないか。

**町長** 早急に対応し、安全対策を図る。

# 町政を質す 一般質問

麻生  
良典



## まちづくり構想 小さな拠点づくりの進捗は如何か

----- 構想は必要であり、早期に着手したい

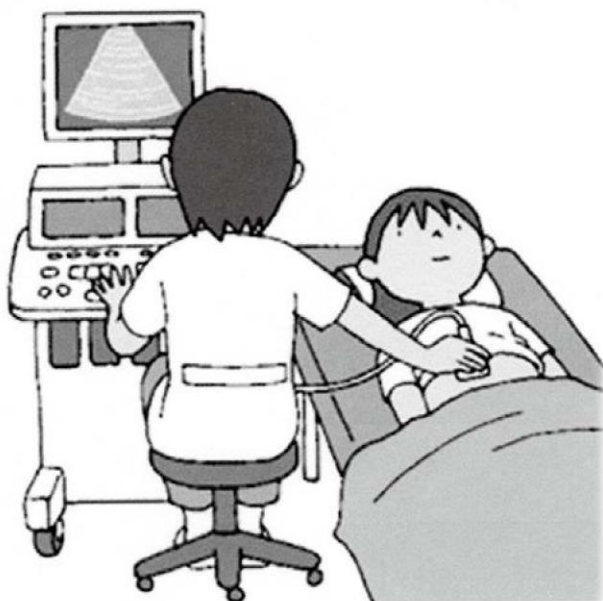
### がん検診率を上げ 膵臓がん検診に新たな動きを

**麻生** 国や県や町でもがん患者や治療費は上位を占めており、がん対策、特にがん検診は重要である。町の取り組みは如何か。

**町長** 受診率は20-30%。全国や県に比べて10%以上高いが、国の目標とする50%には届かない。検診期間の延長、特定健診との同時実施、無料化、全世帯への周知、県内で使えるクーポン券の配付等を行っているが工夫が必要である。

**麻生** 膵がんは特に早期発見がカギを握る。腹部エコー検査で発症予測が可能で、実施する病院が増えている。大分大学発の創薬ベンチャーが、膵がん等の治療薬の開発を始めた。膵がん対策で、特にエコー検査について県や医師会と積極的な意見交換を行う価値は高いが如何か。

**町長** 国の調査研究の動向を見て検討する。大事なことなので、県の担当者や首長と意見交換したい。

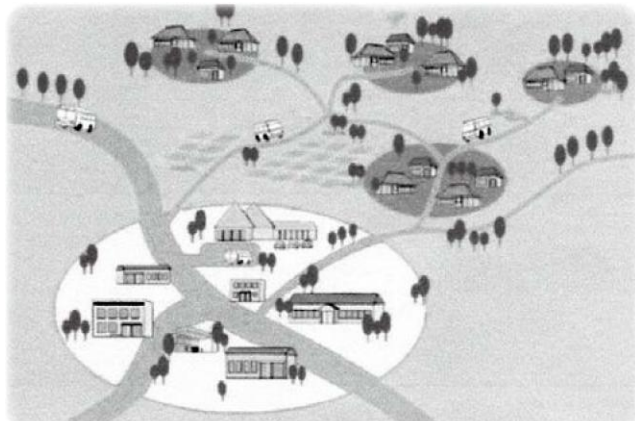


どこの病院にもあるエコーで診断

### まちづくり構想の進捗

**麻生** 小さな拠点づくり構想に関しては、地区協議会等と協議し将来の立地体系を考え、住宅整備する方策も議論する、との答弁であった。進捗状況は如何か。かゆい所に手が届く交通体系や支援が必要。

**町長** 小さな拠点構想は早期に考える必要があるが、課題も多い。他自治体の実践例も参考にして検討を進める。



小さな拠点では交通網の充実がカギ

### 人権意識調査のありかた

**麻生** 今回の意識調査の目的を改めて伺う。

**町長** 意識の変化や差別解消法の周知度を調べた。今回の回収率は31%で前回の50%超を大きく下回った。その原因を調べる。

**麻生** 調査期間は5年が適切。必要に応じて性別の質問を削除したらどうか。

**町長** 理解できることであり、次回は考慮する。

**麻生** 前回の調査結果により新たに実施した施策は何か。調査では施策の認識度を調査する必要がある。

**町長** 新任や小学校6年生担当教職員の人権教育に厚みを持たせた。社会教育面では、「なるほど・ザ・人権講座」を開始した。認識度では、それを測る物差しを工夫して取り組みたい。

# 子ども医療費助成は郡内統一すべき

..... 早い段階で足並みをそろえる



佐藤 明郎

## 在宅介護の悲劇を防げ

**佐藤** 町内多くの世帯が、自宅で家族の介護に頑張っている。

全国で発生している、在宅介護を巡る悲劇を九重で起こしてはならない。

各種、支えあい事業には感謝するが、周りに相談できない、支援を受けようとしめない人たちを、どのように支えていけるのか。

**町長** 仕組みづくりの中で、「お互い様」をいかに作っていくかが大きな課題である。



介護家族の集いによる研修

**佐藤** 介護している自分自身を支援してもらうことに、抵抗を感じる方も多し。すべての町民が両方の立場になりうる。一歩踏み出して、全町民的課題と考えるべきだ。

**町長** 高齢者だけの問題でなく、全住民が、支える側、支えられる側、そういう視点で取り組む。

## 子ども医療費助成をどうする

### 子ども医療費助成制度の現状

現物給付 (玖珠町)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関窓口で処理が終わる</li> <li>・医療費負担なし</li> </ul>
償還払い (九重町)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関窓口で一旦支払いを行い、行政窓口で手続きをし、その後助成金を受け取る。</li> <li>・医療費負担あり (500円)</li> </ul>

**佐藤** 子ども医療費の助成の在り方、自治体が違うとはいえ、同じ生活圏である玖珠町との差はどうなっているか。

**町長** 九重町は償還払い、玖珠町は現物給付、それと九重町は自己負担あり、玖珠町は自己負担なし。

**佐藤** 私の、医療機関に対する聞き取りでは制度を変えることによる現場の混乱はほとんどないと聞く。町民の現場の立場を考えれば財政面はあるが、両町で足並みをそろえるべきだ。

**町長** 指摘の部分に訴える声が多い現実もあることから、来年度、現物給付に変えようと協議し、今後変えていく。

**佐藤** 財政面もあろうかと思うが、町民目線で、制度とともに、助成額の在り方も検討すべきである。

**町長** 早い段階で足並みをそろえるように現在、支援策を講じている。





# わたしのひまわり

## 全国消防操法大会出場

野上 滝上

佐藤 義徳さん



今年10月19日、第26回全国消防操法大会が富山県で開催されました。九重町消防団の小型ポンプの部では初出場で、町をあげての大会となりました。

まずは県大会を通過しなければ。過去数回県大会に出場してきましたが、あと一歩およばずに涙してしまいました。

私は今年選手として出場しました。次こそは勝たんといけん!! プレッシャーのかかる日々の中、支援してくださった関係者の方、そしてなにより信頼できた団員、大会当日まで毎日イヤになるくらい連絡を取り合い

県大会にのぞみました。九重町みんなで勝ち取った県大会優勝で涙がとまりませんでした。

そして、更に磨きをかけて全国大会に挑みましたが結果は「ありがとう」「よくやった」褒め言葉しかなく、また涙。

この大会を通じて多くの人と関わって、九重町がもっと好きになりました。

九重町

最高——!!



ファイト!

## 地元を大切に

飯田 年の神

馬場 博司さん



私は飯田東部地区に住んでいます。私が十五歳の時に父親が他界して二十三歳から行政の役をさせてもらうようになり地元と関わる機会が増えました。最初は面倒だなと思っていましたが、歳を取るにつれ仕組みが少しずつ分かるようになり、色々な事を教えて頂き私も行政区の一員だなど思えるようになりました。

父親のいない私には丁度父親の年齢に近い方々が多く父親の代わりをしていただき成長する事が出来たと思います。また、近所の方々や先輩・後

輩にも恵まれ感謝しています。

いつか私もこの恩を返せるように、そして息子に伝えていけるように自分なりに努力をして行こうと思います。九重町はすばらしい場所であり子育てには良い環境だと思えますが、小児科が近くにない夜間当番医も町外にしかないなど不便な部分もあります。また、少子高齢化も進みます。また問題が出てくると思いますが、少しでも人口増加・経済発展と自然の調和を願い、これからも地元を大切にして行きたいです。



地元の方々との絆を大切に

傍聴へどうぞ 次回は3月です



祭りで披露する  
下旦子供祇園囃子



100人を超えて  
賑わう収穫祭



このえ  
ふまさと便り  
第12便



野上・たのしんピック  
「ひけえ～」



坊がつる讃歌で交流  
芹洋子さんと小学生

議会だよりについてご意見をお聞かせください。【議会事務局：76-3814】

## 編集後記

広報のメンバーが新しくなり、もう二年が過ぎようとしています。この間、皆さんに読んでいただけるよう、より一層の工夫をしたつもりです。

全国広報研修、他町の広報委員会との情報や意見交換、それに皆さんの声をもとに、委員全員で何度も熱心に話し合いました。写真や空白を有効に使って目を通しやすくしたり、多くの印刷物では横書きが使われていますので、それも積極的に取り入れ少しずつ増やしてきました。今回の議会だよりでは何人かの一般質問も横書きで作ってみました。ご感想をお聞かせください。

毎回、議会だよりの作成にあたっては、多くの方々から原稿や写真を寄せていただき、大変ありがとうございました。

これからも、もっともっと読みやすく分かり易い紙面づくりに励みます。

麻生 良典

- ・ 広報委員長 佐藤 明郎
- ・ 副委員長 麻生 良典
- ・ 委員 佐藤 博美
- ・ 委員 土井眞一郎
- ・ 委員 増田 裕子
- ・ 委員 佐藤 太治